

50年後も新築時の耐震性能を保ち続ける家

建てたときに耐震性能が高くても、
建物が劣化してしまい耐震性能が落ちてしまうと意味がありません。
ARCHの家は、新築時の耐震性能を維持し続けます。



地震に強く長持ちする家づくりの現場公開

あつまり
構造見学会(集の家)

2/27(日) 13:00~15:00

【場所】滋賀県草津市集町

※詳細な住所は見学をお申し込みの方にお知らせいたします

お申し込みは
こちら



ARCH
標準仕様



HOUSE
GUARD
SYSTEM

くさらない木で 建てる家。

ARCHの家は、新築時の耐震性能を維持し続けます。

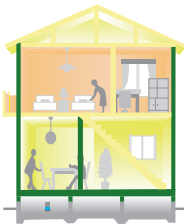
耐震

半永久的に新築時の耐震性能を維持し続ける、住む人の命を守る家

地震や台風などの災害は、いつ起こるかかわからないのに、現在の建築基準は新築時の耐震性能しか考えられていません。ハウスガードの家は、耐久性に優れた「緑の柱」を用い、長期に渡って耐震性能を保ち続ける家づくりが可能になりました。

「緑の柱」が長持ちの家を実現します。

木造住宅の主要構造部分に「緑の柱」を使用します。耐久性に優れた「緑の柱」なら柱・壁・土台など、見えないながら住宅を支えている部分の腐れ・シロアリ被害の対策が万全となり長持ちの家が実現します。



長持ち

「緑の柱」の高い耐久性によって「腐れ・シロアリ」被害から家を守ります

一般的に腐れやシロアリに強いとされるヒノキ、ヒバであっても、実際には下の写真のように被害にあいます。住宅用構造物として広く使用されているホワイトウッド（集成材）が一番被害にあっています。優れた耐久性を発揮した「緑の柱」は被害にあっていません。「緑の柱」は「腐れ・シロアリ被害」から家を守り、家を長持ちさせます。



シロアリ被害を受けたホワイトウッドの集成材

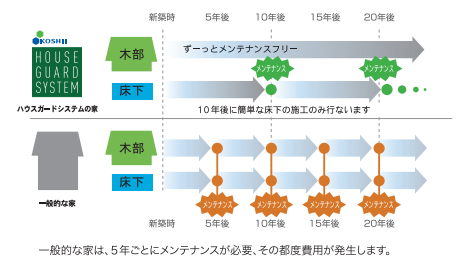
樹種別：蟻被害比較試験

樹種別：腐れ被害比較試験

メンテナンスフリー

高い耐久性を誇る「緑の柱」だから柱や土台はメンテナンスフリー

家を支える大切な柱や土台は「緑の柱」を使用しているため、壁や床を剥がして取り替えるなど大掛かりなメンテナンスは必要ありません。リフォーム時に多額の費用がかかる恐れがぐっと軽減されます。床下部分は10年に一度、簡単に安全な防蟻処理を行います。非常にシンプルな方法で長期に渡って家を守ります。



阪神大震災で得た教訓

調査資料によると、シロアリや腐れの被害にあった9割が全壊していました。命を守る住まいであるためには、新築時の強度をずっと維持することが大事なのです。



30年でも50年でも、新築時の耐震性能を保ち続ける家

優れた耐震性を何十年も保ち続ける家でないと意味がありません。「ハウスガードシステム」の家は、新築時の耐震性を維持し続けます。



リフォームで差がでる、長持ちの家

建ててしまうと隠れてしまう部分も、「緑の柱」ならメンテナンスフリーなので、リフォーム時は、内・外装だけで済みます。



熱帯魚が泳ぐ水槽に「緑の柱」を長期間置いても何の影響も見られません

シックハウスの原因にならない安全な家

有害なVOC(揮発性有機化合物)を発生しないことが証明されており、シックハウスの心配もありません。